

名称等 第44回沼津市芸術祭「美術展」の開催

場 所 プラサヴェルデ 市民ギャラリー

担 当 文化振興課

直通 055-934-4812 内線 2792

## 1 芸術祭「美術展」受賞者発表

第44回沼津市芸術祭「美術展」部門において、10月17日(火)に審査を行った結果、別紙のとおり各賞が決定しましたので、審査結果をお知らせします。

また、受賞作品を含む展示を下記のとおり行います。

開催期間 : 平成29年10月18日(水曜日)～10月22日(日曜日)  
10:00～18:00(最終日は16:00まで)

場 所 : プラサヴェルデ 市民ギャラリー

出品作品数: 142点(招待作品も含む)

入場無料

## 2 その他

第44回沼津市芸術祭の「美術展」を含む展示部門及び文芸部門の受賞者には、下記のとおり表彰式を行います。

表 彰 式 : 平成29年11月18日(土曜日) 14:00(13:00受付開始)

会 場 : プラサヴェルデ コンベンションホールB

# 平成29年度第44回沼津市芸術祭 美術展審査結果報告

## ◇ 作品点数

	洋画	日本画	水彩・版画	合計
一般公募作品	56	16	32	104
無鑑査作品	13	7	7	27
招待作品	7	2	2	11
合計	76	25	41	142

◇ 審査日 平成29年10月17日(火)

◇ 審査員

- 洋画 川合 朋郎(東京芸大卒業)
- 日本画 大場 茂之(日本画家)
- 水彩・版画 見目 陽一(一社 日本版画院 前理事長)

## 受賞点数

「芸術祭賞」、洋画部門、水彩・版画部門 各1点、日本画部門は該当者なし  
 「市長賞」、「市議会議長賞」、「教育長賞」、「文化協会賞」、「静岡新聞社・静岡放送賞」 各部門1点ずつ  
 水彩・版画部門のみ「山口源の会賞」1点(版画)

## 「奨励賞」点数

洋画部門:5点、日本画部門:5点、水彩・版画部門:4点

## ◇ 受賞作品・作者名

### ● 洋画部門

賞	題名	氏名	住所
芸術祭賞	破壊された屏風岩(黄瀬川)	長田 清志	沼津市豊町
市長賞	昼の散歩	佐々木 眞知子	沼津市東椎路
市議会議長賞	孫と考える人	石井 文男	沼津市大諏訪
教育長賞	セピアいろの秋	外川 雄章	駿東郡長泉町下土狩
文化協会賞	幸せなひととき	山本 邦浩	田方郡函南町間宮
静岡新聞社・静岡放送賞	愛鷹山麓	原 京子	沼津市高砂町
奨励賞	浮島沼水門待春	植松 徹	沼津市西添町
奨励賞	山峡の家	大内 美恵子	田方郡函南町平井
奨励賞	ミラノコレクション	工藤 祥子	沼津市小諏訪
奨励賞	ふるさとの夕ぐれ	土屋 三千代	沼津市小諏訪
奨励賞	白い花瓶の花	寺田 恵子	沼津市大岡

### ● 日本画部門

賞	題名	氏名	住所
芸術祭賞	該当なし		
市長賞	響き	本多 なお子	沼津市大岡
市議会議長賞	燦く秋	伊良 幽里	沼津市岡宮
教育長賞	虞美人草	桜井 こずゑ	伊豆の国市浮橋
文化協会賞	烏瓜	山田 多美子	駿東郡清水町長沢
静岡新聞社・静岡放送賞	昔日	市東 朋美	沼津市根古屋
奨励賞	桐の花	影山 静子	沼津市大平
奨励賞	かんぱい	小林 みさ子	沼津市日の出町
奨励賞	Magic Art	杉山 清弘	三島市大場
奨励賞	ふれあい	丹澤 幸枝	沼津市吉田町
奨励賞	休日	野村 喜代江	沼津市多比

● 水彩・版画部門

賞	題名	氏名	住所
芸術祭賞	苦悩の末に得た解放	本田 照男	沼津市旭町
市長賞	朝の沼津駅	落合 清太郎	駿東郡清水町徳倉
市議会議長賞	風にのって	新谷 敏文	沼津市双葉町
教育長賞	にぎやかな家族たち	増田 里美	島田市幸町
文化協会賞	遊泳 Ⅲ	高島 邦明	沼津市大諏訪
静岡新聞社・静岡放送賞	孫とわたし	岩崎 道子	沼津市西沢田
山口源の会賞	時季過ぎて	野秋 房子	沼津市大岡
奨励賞	キャベツ(自然農法)	小原 榮	沼津市原町中
奨励賞	画家の休日	佐藤 和弘	沼津市原
奨励賞	安良里港の店番	鈴木 智子	沼津市我入道津島町
奨励賞	朝の沼津港	浜野 幸一	沼津市大諏訪

◇審査短評

●洋画部門

審査総評	「これを描こう」と思った時の心の鮮度を保ったまま完成を迎えることは非常に難しいのだと感じた。作者が自身の作品に驚くような発見に満ちた制作が望まれる。
------	--

●日本画部門

市長賞 「響き」	マンドリンやバラなど全体に良く描けている作品と思う。色の明暗がほしいものです。
審査総評	昨年より2点ほど少ないと言うが全体的に創作的な作品が見うけられた。構図や色相も多彩で面白い！今後も増々情趣あふれる味のある作品を期待したいものだ！

●水彩・版画部門

芸術祭賞 「苦悩の末に得た解放」	このドローイングは本人の正直な心を表現している。続けて欲しい。
市長賞 「朝の沼津駅」	日常生活のそのままの姿が表現されている。
審査総評	日常の生活や地域のあるがままの自然と未完成美を公平に選んだ創作は、その地域の喜び、祭典でもある。